

北海道ユニバーサルツーリズムレポート2024

レポートの概要

2023年度、（公社）北海道観光振興機構では、旅行形態の変遷に伴う道内観光に求められるニーズの多様化を受け、様々な観光シーンにおいて誰もが安全・安心に道内旅行を楽しむことができる環境を整備するため、あらゆる旅行主体にとっての障壁の認識や、道民が主体となった「おもてなし」の機運醸成により、誰にでも優しい「観光立国・北海道」としての受入体制整備の推進を図ることを目的として、「ユニバーサルツーリズム推進事業（バリアフリー観光サービス・情報発信強化）」「ユニバーサルツーリズム推進事業（バリアフリー対応ノウハウ習得研修）」を実施しました。

また、令和5年度地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業の一環で、「令和5年度新千歳空港バリアフリー観光相談『構築』事業（（一社）日本UD観光協会）」を採択し、新千歳空港でのバリアフリー観光相談窓口の自走化・常設化へ向けた事業を行いました。

「北海道ユニバーサルツーリズムレポート2024」は、これらの事業の結果（概要）やそのほか北海道の地域のユニバーサルツーリズムの取組をまとめたものとなります。

発行：公益社団法人 北海道観光振興機構（令和6年2月）

制作：ユニバーサルツーリズム推進事業（バリアフリー対応ノウハウ習得研修）

受託コンソーシアム（株式会社HKワークス・一般社団法人日本UD観光協会）



PDF 配布先：一般社団法人日本UD観光協会

〒006-0851

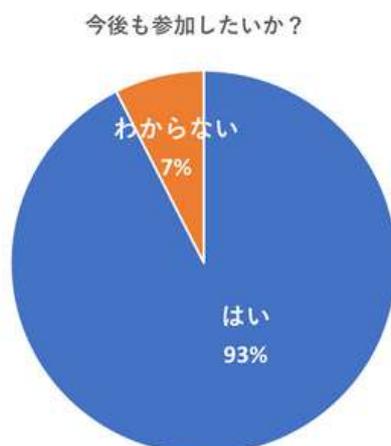
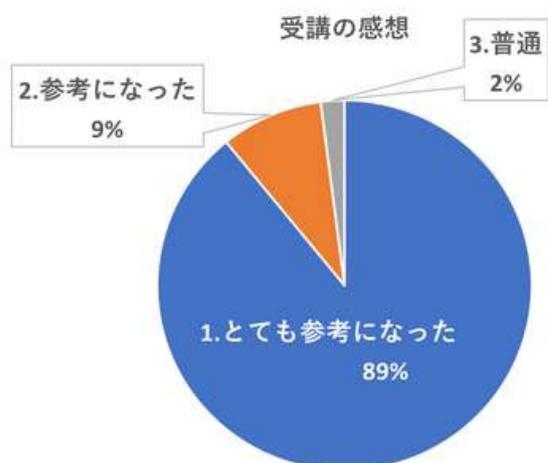
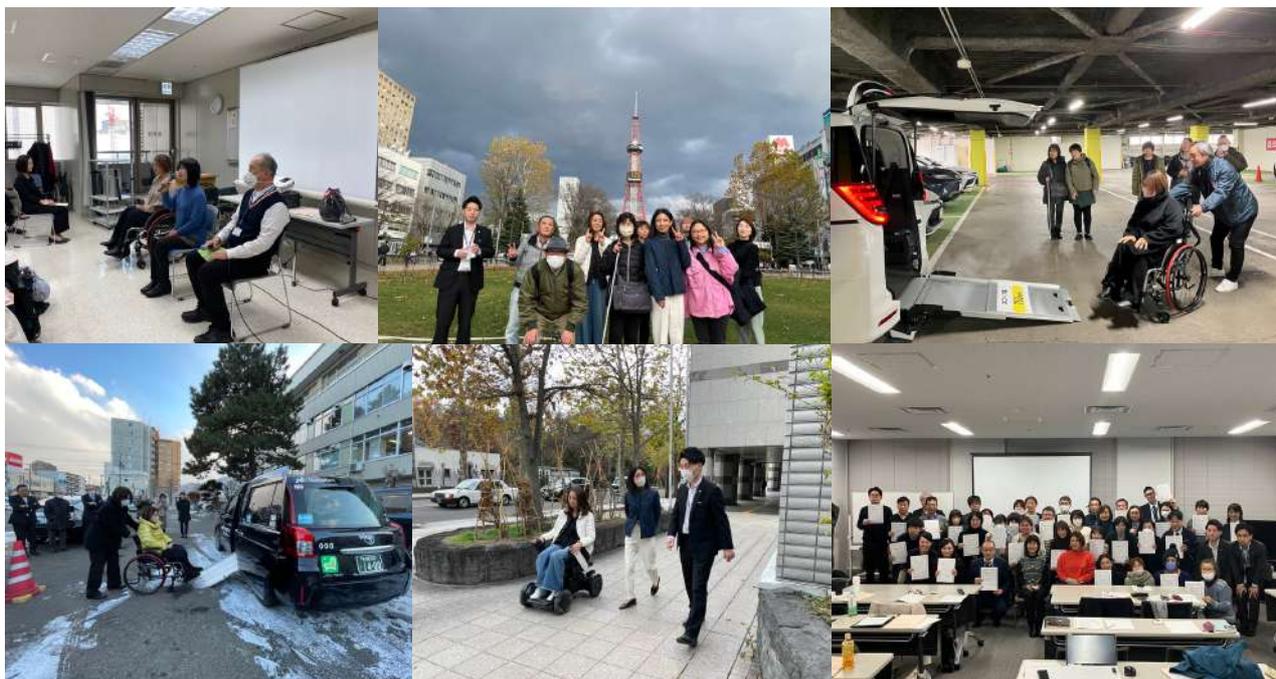
札幌市手稲区星置1条3丁目6番3-113号（株）HKワークス内

TEL：011-682-8933 / MAIL：info@juta.jp URL：https://www.juta.jp

バリアフリー対応ノウハウ習得研修

北海道のバリアフリー観光(高齢者・障がい者等への観光)におけるサービスの充実や向上のため、観光関連事業者・自治体等を対象に、観光施設等におけるハード面および、サービスのノウハウや情報発信の充実などのソフト面を一体的に推進する事を目的に、これらのノウハウを習得するための研修会を開催しました。観光介助士®初級(札幌32名、新千歳空港42名)、中級(札幌35名)、業種別(レンタカー19名、ハイヤー・タクシー27名)の全5回実施し計155名が参加しました。今年度は次世代型モビリティ(電動車いす)WHILLの研修も導入しました。

「観光介助士®」(商標登録第5546002号)は、(一社)日本UD観光協会が認定する資格制度です。

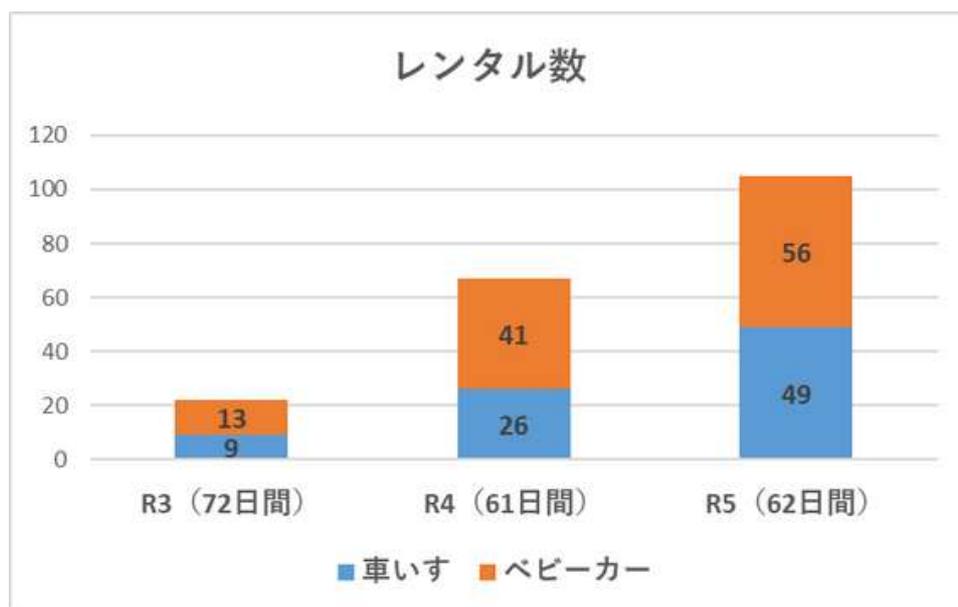
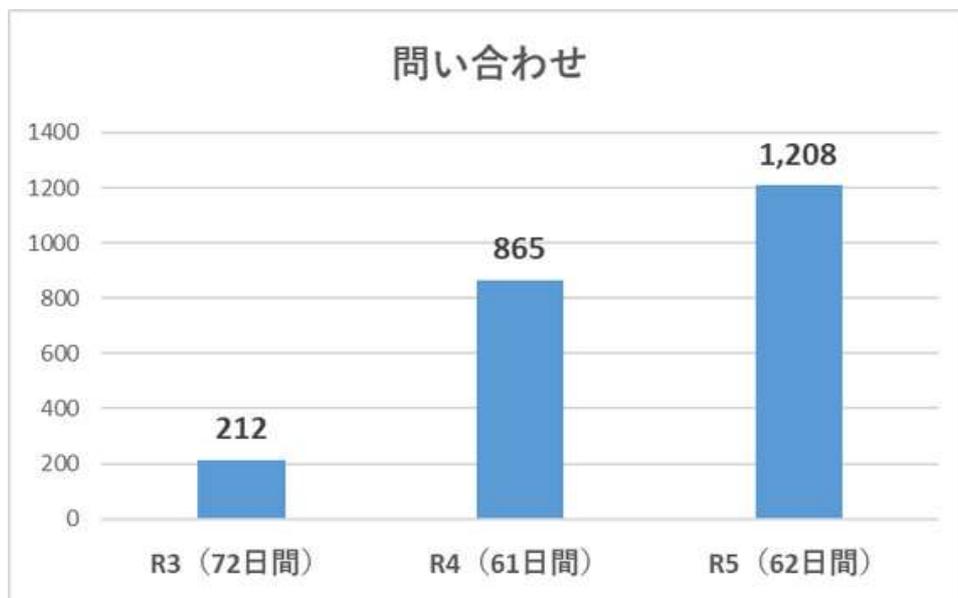


研修の感想は「とても参考になった」「参考になった」合わせて98%でとても有意義な研修となりました。また、今後も参加したいか?という質問でも93%の方が「また参加したい」という非常にリピート意欲の高い研修となりました。また「実技中心の研修が、UTを理解する上で重要だと感じた」という感想が多くを占めました。

北海道ユニバーサル観光センター・新千歳空港

令和5年度新千歳空港バリアフリー観光窓口「構築事業」の一環として、（公社）北海道観光振興機構の『令和5年度地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業』の支援を受けて「北海道ユニバーサル観光センター・新千歳空港」を日本UD観光協会が運営しました。

- ・期間：7月25日～9月24日の62日間（9時半～16時半）
- ・実施内容：新千歳空港1Fにて下記業務を実施
 - 1.バリアフリー観光の相談業務・情報発信
 - 2.有償での車いす等の福祉機器のレンタル業務
 - 3.アンケートの実施



問い合わせは前年比べ約71%増、レンタル数に関しては、有償化したにも関わらず、61%増という結果となり、問い合わせ、レンタルともに非常にニーズがあることがわかったとともに、窓口の常設化、自走化へ向けた事業構築に大きく前進するものとなりました。

千歳市ユニバーサルツーリズムの取組

千歳観光連盟では、高齢者・おからだに不安をお持ちの方向けのツアーなどを実施しています。また、「ちとせ観光ナビ」をリニューアルし、千歳観光バリアフリーマップや動画の情報を追加しました。誰もが訪れやすい観光地づくりへ向けて取組を進めています。

